

連携・協働を拓き、
訪問介護の可能性
を高める！

福祉事業を担う リーダーのマインドと スキルを考える

平成25年12月、社会保障プログラム法が成立しました。
この法律は、多様な生活課題を抱える人々を社会で支えていくため2025年日本モデルへと改革を進めていくためのものです
が、在宅福祉にも大きな影響があると思われます。

今、これらの法制度成立も視野にいれながら、訪問介護の可能性が一層高まるよう、訪問事業所間、または他の福祉関係機関との連携・協働を進めていくことが必要です。

本研修では、この連携・協働を生み出すリーダーの養成を目的に行います。

連携・協働を生み出すためには、「**人や組織を繋ぐ**」ことの意義を理解し、意識をもち、スキルを備えることが重要です。各訪問介護事業所のリーダー的役割の方、また、各自治体の訪問介護連絡会等、ネットワークのリーダー的な役割を担っている方、是非、研修にご参加ください。

講師



東京工芸大学教授
大島 武先生

1963年生
一橋大学社会学部卒
東京工芸大学芸術学部教授
フェリス女学院大学非常勤講師
(著書)・プレゼンテーションマインド／「相手の聞きたいこと」を話せ！／ケースで考える情報社会
映画監督 大島渚氏長男

訪問介護をターミナル期まで利用しており、家族介護者として大変お世話になったという想いがあるそうです。
専門分野であるビジネス領域におけるパフォーマンスを含め、コミュニケーション法・ネットワークを生み出すファシリテーションの方法などをお話しいたできます。

日時 1日目 2/4(火) 2日目 2/26(水)

両日とも 15時～18時
※本研修は、2日間連続研修です。

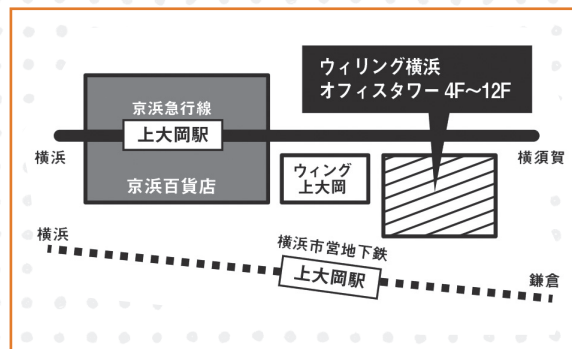
会場 ウィリング横浜
(京急・市営地下鉄線 上大岡駅直結 徒歩3分)

受講料 4000円 ※2日間の受講料

対象 訪問介護事業所の管理者・サ責などリーダー的役割の人
訪問介護連絡会等のネットワークのリーダーを務めている人

定員 50名 ※先着順にて受講受付します

申込方法 申込用紙に必要事項を記入し、1月28日(火)
までにFAXでお申込みください。



連携・協働を拓き、訪問介護の可能性を高める！

1日目

2/4(火)

15時～18時

訪問介護の意義と可能性 ー家族介護者の立場からー

ビジネスの現場におけるコミュニケーションの重要性=そのマインドとスキル

ショートワークショップ 「私のコミュニケーションの傾向を客観視する」

2日目

2/26(水)

15時～18時

職場内外での協調行動を導き出す・・・意義と方法

ファシリテートとは

「協働・連携を生み出すリーダーの極意を探る」

ショートワークショップ 「協働・連携を生み出すリーダーの極意を探る」



訪問介護事業 リーダー研修

受講申込書

この申込用紙にて FAX でお申込み下さい。 **FAX: 045-228-9118** ※申込締切：1月28日(火)

事業所名	所在地	〒	
TEL :	FAX :	(申込の方の) E-mail	
受講希望者氏名(ふりがな)	役職名	経験年数	
		年	ヶ月
		年	ヶ月
		年	ヶ月

※ここに記載された個人情報は、本事業以外の目的では使用しません。



特定非営利活動法人
よこはま
地域福祉
研究センター

Yokohama Community development Research center

【お問い合わせ】 特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター
(担当：佐塚・戸嶋)

〒231-0013 横浜市中区住吉町2丁目17番地 金井ビル 201号室

tel : 045-228-9117 fax : 045-228-9118

www.yresearch-center.jp